

インターネットのCOOL&FOOLが大集合!



We Love Internet People

このコーナーは、
インターネットピープルの皆さんと編集部を結ぶページです。
皆さんの楽しいメールがこのコーナーを作ります。

Let's Access!



Voices From Readers

先 月9歳になったばかりのうちの息子。
「誕生日にはなにが欲しい?」という質問に、「インターネット」と答えたのには驚きました。なんでも友達がインターネットをやっている自慢されたとか。というわけで、パソコンを教える前にインターネットを教えることになりそうです。(岡坂和則さん・45歳)
おお。とうとうそんな時代になりましたか。ちなみに私が9歳のときに欲しかったものは.....このお話のあとでは恥ずかしくて言えません。(編)

イ ンターネット上の懸賞に応募しまくっていたのですが、半年応募し続けて当たったのは某プロバイダーのロゴ入りストラップとマウスパッドのみ。通信料金のほうが高くなっています(涙) (なすびさん・27歳)
行くところまで行ってください.....(編)

某 メーカーのワイヤレスデータカードを使って通信してます。寝ころがりながら仕事をしたり、自宅の庭でメールを読んだり.....。線がないというだけでこんなに仕事が楽しくなるとは。今度はトイレでもトライ(?)してみるつもりです(笑)。

(野崎さん・33歳)

そうです! 時代はワイヤレスなのです!! 仕事環境を快適にする第一歩はワイヤレスから始まるのかも。でもトイレで使うのはちょっと.....(編)

私 が貴誌を読むときに一番はじめに読むのは広告です。最近ではいろいろな広告があって、サービスの売り込み方もさまざま。これを読むだけでかなりいろいろなことに詳しくなりますよ!(読者ハガキより・女性の方)
なるほど。こういう楽しみ方もあるんですね。とくに通信系の広告は、この業界の勢いを感じさせる斬新で華やかなものがたくさんあります。オシシイ情報は目を通した人だけがゲットできる! というわけで、皆さんもぜひ、じっくり読んでみてくださいね。(編)

先 月、北海道から上京してきたばかりです。東京に来てまっさきに行ったところは秋葉原! 想像以上にエキサイティングな光景に胸が躍りました。この気持ち、わかるかな~。(一攫千金さん・21歳)

初めて秋葉原に行ったとき、私は迷子になって泣きそうでした。ある意味エキサイティングな体験でしたね(笑)。(編)

う ちの父は、いつも会社から「今日はなん時に帰るぞ」とメールしてきます。でも、そのメールは結局だれにも見られることなく、本人が家で仕事をするとき読んでいます。自分のメールを自分で読むなんてさびしくなかしら? とも思うけど、結構、自己満足入っているみたいなので、好きにさせています。

(読者ハガキより・女性の方)

ク.....クールですね。このお父さん、ご家族にメールを送ることが日課になっているようですが、一体なにをきっかけにこういった行動に出るようになったのでしょうか? でも、せめて3日に1回は見てあげてもいいかも?

あなたの自慢のホームページを紹介し
ます。どれも作者の自信作
です。とくにご覧あれ

H O M E P A G E

見よ!

読者の自薦
ホームページ

「かばっかば」

Jump www.plala.or.jp/kabachan/

チャットと掲示板によるコミュニケーションを目的としたHPです。遊びに来てくれるみんなと楽しくおしゃべりができたらいいなと思ってます。チャット(不定期)で集会などを開いてみなさんのお越しをお待ちしてまゐります。ぜひ一度遊びにいらして下さいね。

(かばちゃんさん)



「増田酒店」

Jump www6.freeweb.ne.jp/shopping/owner/

千葉県松戸市にある小さな酒屋のHPです。ワインや日本酒、缶チューハイまで100円均一をしているよ! 近所の居酒屋さん情報もあり。その居酒屋さんに行くときはHPを見たと言うとちょっとした特典が.....

(管理人@店主さん)



「おせっかい倶楽部」

Jump www1.ocn.ne.jp/~osekkai/

新潟県キャン協会のホームページ。各種野外活動のミニイベント企画「おせっかい倶楽部」、ネット上のパステル画個展「青柳清作品展」などをやっています。(おせっかい倶楽部さん)



「図書分室～よろずルーム～」

Jump www08.u-page.so-net.ne.jp/gf6/akiko-f/

神風怪盗ジャンヌ、ツインシグナル、そのほか漫画中心のHPです!「探してる本を見つめます!」というコーナーもあります。

(司押亜紀さん)



「Auto Logo」

Jump www6.big.or.jp/~neon/

ホームページ作成支援として、初心者や女性がいやすいサイトを公開しています。ホームページのロゴやミニバナー、ボタン、ラインを無料で自動作成できます。サンプルいろいろ!一度お試し下さい。リンクバナーやボタンの素材にも利用できます。(のぶたさん)



「尾崎スマイル保存会」

Jump www07.u-page.so-net.ne.jp/gf6/y_tyoko/ozaki.html

昨年未まで、俳優の今井雅之氏が主宰している「THE WINDS OF GOD」という舞台に出演されていた尾崎英二郎さんの私設応援HPです。まだまだTVなどでの認知度は低いかもしれませんが、NYでの舞台経験もある、本当にこれから「出てくる」俳優です!!(ちよこさん)



AFTER CARE

2000年3月号表紙

左下「緊急収録!! インターネットエクスプローラ5.01日本語版」で、「CD-ROM.B」に収録」とありましたが、「CD-ROM.A」に収録」の誤りです。

2000年3月号

特集「時代はワイヤレス」(P.192)

「NCR WaveLAN Turbo 11Mbシステム」の価格が間違っておりました。正しくは、58,000円です。

2000年3月号

集中企画「新電話割引サービスのススメ」(P.215)

囲みの表において、128Kbpsでデータをダウンロードした場合、電話料金は「約370円」になるとありますが、この場合はチャネルを2本使うことになるので、正しくは「約740円」となります。

関係者の方には多大なご迷惑をおかけ致しました。以上、お詫びして訂正致します。



編集部からのお知らせ

We Love Internet Peopleでは、皆さんからの便り&自薦ホームページを大募集しています! インターネットにまつわるエピソードや素朴な疑問はもちろんのこと、ご自慢のホームページの紹介も大歓迎です! 下記のページからどうぞご応募下さい。お待ちしております!!

Jump internet.impress.co.jp/welove/



このぶこの

What a Wonderful World!



いでのぶこ
1969年、大阪生まれの東京育ち。6年間プログラマーとして勤めた後、1年間の予定で世界一周の旅に出たが、11ヶ月たったいまも中東を旅行中。イスラエル出国後はヨルダンへ引き返し、南部のペトラ遺跡で映画「インディーズ・ジョーンズ」の撮影された峡谷を散歩して感慨にひたる。
© Jump www.4.justnet.ne.jp/~nosan/

銃をかついでピザ屋へふらり

気がついたらイスラエルにいたんです。物価が高いと有名なイスラエル、予定では行くつもりなかったのですが、シリアでデンマーク人の留学生と道連れになり、はずみでついて行ってしまいました。

イスラエルといえばなにやらキナクさい印象で、銃を抱えた兵士がどっさり。ちなみにこの国の兵士たちは、勤務時間外も銃を離してはいけないとか。勤務明けの兵士は私服に着替え、それでも銃だけはかついでなにげなくピザ屋に来たりします。ぱっと見じゃテロリストか兵士かわからないので、ギョッとさせられることもしばしば。こんなお国柄なので国境の荷物検査はとてきびしく、X線検査でチェックが入ると荷物の1つ1つを開いて調べられるという噂。私はパソコンを手荒に扱われるのがイヤで荷物をヨルダンのアンマンに残し、陸路でイスラエルを目指しました。デンマーク人のキムくんは、イスラエルでボランティアとして働くために全財産をバッグにつめてシリアから引越してきたのですが、国境で荷物の中にたくさん



最初は見慣れなかったベドウィンの装束だけれど、そのうちとって「クール」だと思えるようになってきた。

に。幸い危険思想的な本は持っていなかったもので簡単な質問で済んだのですが、「エロ本持ってなくてよかった」とほっと胸をなでおろす彼でした。

さて、イスラエルの名物といえばまず死海が思い浮かびます。その塩分濃度は海水の8倍とも言われ、死海に浮かびながら新聞を読む観光客の写真はツアーパンフレットでもおなじみです。海拔マイナス400メートルという地球上でもっとも低い場所にあるため、気温は冬でも温暖で、年中「海水浴」客でにぎわっています。それにしてもこの水、体の浮くことといったら並じゃありません。おなかを下にして泳ごうとしたらあまりに浮かぶので波にひっくり返されてしまいました。ちなみに死海で怖いのは切り傷。さすがにこれだけ濃い塩分だとちょっとした傷でもしみるのなんの。しかも死海のビーチは結晶した塩だらけ。水に入ろうとする瞬間に波が押し寄せ、結晶で膝や手のひらはイヤでもひっかき傷だらけ。そのあと地獄の責め苦が待っています。

私の滞在したエルサレムはユダヤ教の聖地としても有名な場所。「嘆きの壁」と呼ばれる旧ユダヤ教寺院の跡地には今日も多くのユダヤ教徒のひとたちが集まっています。このユダヤ教徒の正装というのがとっても目をひく格好で、チャップリンのかぶるような丸い帽子に黒いスーツ、くるくるの巻毛をもみあげの部分だけ20センチも伸ばし、後ろは刈り上げという髪型。これはどうしてもカメラにおさめなければと近づいていったのですが、この方たちはとっても誇り高い人々で、声をかけてもほとんどがシカト。まれに相手をしてくれる人でも、よくて「NO SPEAK ENGLISH」との答え。もの珍しさでカメラを向けた自分が悪いんですが、写真を撮ろうとしてこんなに冷たくあしらわれたのは初めてなので、ちとショックを受けました。



ユダヤ教の聖地「嘆きの壁」の前で警護にあたる兵士。ユダヤ教の人たちはなかなか写真を撮らせてくれないが、兵士はフランクに応じてくれた。

この国の公用語はヘブライ語とアラビア語ですが、観光地ではだいたい英語が通じるので旅行に不自由はありません。でも、あるときお土産屋さんで英語で割引の交渉をしたら「トゥモロー」と言われ、思わず「は？」と聞き返してしまいました。どうやらテロリストがお土産屋さんで断るときの決まり文句「明日ね」(tomorrow) というのを、NO という意味と誤解して使ってるみたい。遠まわしな断り方もほどほどにしたほうがいいようです。

さて、エルサレムのあとこの街へ行くか考えていた矢先にテルアビブで爆破事件が起きたので、結局移動はひかえてヨルダンへと引き返してきました。そう言えば、新年にレバノンにいたときも北部で衝突がありシリア行きのバスが大幅に遅れ、レバノンを出た翌日には、泊まったホテルから10分ほどの通りで爆弾テロがあったとか。中東情勢はまだまだ油断できないようです。

さあ、今度こそは紅海を渡ってエジプトへ。それでは来月、またお会いしましょう!

まくまくのメルマガ大浴場

めーるまがじん だいよくじょう



Review

ここではまくまぐスタッフのるっちゃんに気になったメルマガをレビューします!

(^^)が命の?

マガジンID: 0000022167

「顔文字を使って毎日たのしいメール環境にしよう!」ということで、毎日1つずつ顔文字を紹介してくれます。よく見るものから変わった表情まで、いろいろあっておもしろいです。気に入ったものがあれば単語登録しておくとうべりですね。私も顔文字はよく使う方です。特に気に入っているのは(´ー´)です。おだやかな雰囲気や伝わるような気がするからです。ちなみにこの顔は「にこ 変換」で出てくるようにしてあります。「にこ」とはもちろん、笑う時の音(?)です。(´ー´)

君には言えない

マガジンID: 0000022879

友達だけど、知り合いだけど、だからこそ面と向かっては言えないことを、とにかくしゃべってしまっってスッキリするというメールマガジンです。投稿された内容をもとにして、イヤなことをいゝ意味で受け取ってみたい、なくさめてみたいもしてくれませんか。だれにでも口には出さないけどイヤなことってありますよね? そんな時はひとりでイライラせず、このメールマガジンへ投稿してみるのもいゝかもしれません。

「探偵」—その真実と虚構—

マガジンID: 0000021701

探偵。なんだか少年の心をくすぐる職業ですね。そんな、ちょっと謎に包まれた探偵業についてのメールマガジンです。発行者さん自身が探偵さんなので、調査依頼時の注意点や落とし穴、悪徳探偵社などを始め、よくある相談や調査会社運営秘話を教えてください。たとえば、タウンページの最初の方に掲載されるようにと、会社名を「あ」で始まるようにするなんて普通では考えつきませんか? いろいろな工夫があるんだなあと思いました。わかりやすい文章で、読みごたえのある内容になっています。

貯金 DE だいえっと

マガジンID: 0000021690

貯金とダイエツは密接な関係にある。そう思った発行者さんが、やさしく実行できるコツを紹介してくれます。いつの間にか痩せ、貯金までできるなんて夢のようですね。そのうえ、おしやれすることは大事にしてスマートに決めようとのこと。健康にも気遣っています。そんなちょっとしたコツが短くまとまられているので、気軽に読んで試してみてもいゝのではないでしょうか? 今度こそ成功するかもよ...

大企業引退日記

マガジンID: 0000022039

大企業では自分の力を発揮できないと悟り、自分をもっと生かせる場を求めて奮闘する発行者さんの様子を日記形式で書いたメールマガジンです。仕事に関する考え、過去の経験や思想などが綴られています。いまは「就職難」と呼ばれる時代ですが、それでもあえて転職の道を選んだ発行者さんは30代半ばとのこと。いま、同じように仕事について悩んでおられる方にとっては、きっと参考になると思います。またHPには掲示板が用意されており、意見を交換することもできます。ぜひ、がんばってほしいです。

*タイトル下の数字は、まくまくのメルマガジンIDです。登録はまくまぐホームページ www.magz.com で!



発行者に体当たり!

毎回いろんなメルマガジン作者さんにインタビューを行うコーナーです。今回のターゲットは、関西インターネットブレスの神田敬敏さん。

今回の登場人物

神: 神田敬敏 (かんだとしあき) さん。「関西インターネットブレス」発行人。
る: まくまぐスタッフのるっちゃんこと加藤るみ。
マ: まくまぐスタッフのマグナム敬。甘いものは目がなない。
ふ: まくまぐ編集長の深水英一郎。

深: 今日会う神田さんって年齢不詳なんだよな。本人は27歳って言い張ってるけど、どう見ても俺より年下には見えなないし。なにによりここ数年、年齢が変わってないんだよな。

る: あやしいおじさんね! 気をつけなきゃ。
マ: ちょうど今日、「関西ウェブマスターオフ」っていうイベントがあって、その司会を神田さんがやるらしいのでここ大阪まで押しかけてきたわけだが.....

神: こんにちはあ~。
深: きたきた!
る: 見た感じはそれほどあやしくないわね。

神: なんの話?
深: いやいや、気にしないでください。ところでさっそうかがいいますけど、神田さんって世界中を飛びまわってますよね。これ、お仕事の的にはなんて言ったらいいんでしょうか?
神: そうですねえ。まあ、いろいろやってるわ

けなただけ、一言でいうと「ジャーナリスト」ですね。
深: なるほど。で、そういう広範なジャーナリストとしての活動の中でも、こういう「関西」をキーワードにしたメルマガにこだわってらっしゃるのは、やっぱりあれですか、地元への愛というか、こだわりみたいなものなんですか?
神: いや、関西人はあんまり好きちゃうねん。
マ: ていうかバリバリの関西弁じゃないか!
る: あやしいわ!
神: 人間的には「神戸っ子」が好きなんですけど、関西に生まれたわけだからやっぱり盛り立てていきたい気持ちはありますよね。じゃなかったら、日刊メルマガジン600号も続かないって。

深: なるほど。ところで神田さんは、ひとりでビデオとマイクを持って取材をし、それを放送してしまう「ビデオジャーナリスト」としても有名ですが、そういった視点からまくまぐに対してご意見とかそういうのだけ聞いたら嬉しいんですけど。

神: そうですね、これまでまぐまぐってのは、メールでテキスト情報を送るいわば小さな出版社を作ることができたものだったじゃないですか。それからさらに進んで、個人で小さな放送局をどんどん開けるようなサービスを作ってくれたら嬉しいなあ。それもタダで。
深: むちゃくちゃいうなあ。
神: それができたらゼツタイ使うよ、ぼく。
深: わかりました、やりやいんでしょ、やりやあ。
神: がんばってねえ。
深: なんか、神田さんと話すといつも最後になにかやらされてるんだよなあ、俺。
神: まあいいじゃん、みんな喜ぶんだから。
深: ハイ、がんばりまあーす。

日刊! 関西インターネットブレス

www.kip.net

まくまぐID: 0000000122

神田さんが関わっているメルマガジン
KNNインターネットニュース: 0000000004
関西ウェブマスターニュース: 00000000534



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp